

※撮影時は感染症対策を万全にし、一時的にマスクを外しています。



▲関しなさん（写真中央）とご家族の皆さん。関さんは県内最高齢でいることに「こんなにうれしいことはありません」と話します。

これからもお元気で！

## 県内最高齢の関しなさんが、112歳の誕生日を迎えました

1909年（明治42年）生まれで、2018年から県内最高齢の関しなさんが、10月1日に112歳の誕生日を迎えました。訪問した谷島市長からは花束とひざ掛け、入居する施設の職員さんからは特大のケーキが贈られ、誕生日を祝いました。

市では毎年、100歳を迎える方に市長が訪問をして、表彰を行っています。今年は28名が節目を迎え、コロナ禍を考慮して直接訪問もしくはビデオレターでお祝いの言葉を贈りました。

## 芸術の秋、画家の一生を追う

### 土浦市民ギャラリーで 小林恒岳氏の作品展が開催

9月28日から11月3日までの期間、市ゆかりの日本画家である小林恒岳氏（1932～2017年）の作品展「小林恒岳展－自然への眼差し－」が、土浦市民ギャラリーで開催されました。

小林恒岳氏は、霞ヶ浦や筑波山周辺の自然豊かな郷土を描き続けた、茨城を代表する日本画家です。今回の企画展では、その恒岳氏が一生を懸けて描いた作品の数々や、父・小林巢居人氏の作品、筆や絵具などの画材も展示されました。



▲初期のメッセージ性の強い連作から、自然や生命の美しさに向き合った晩年の大作まで、約35点が展示されました。

## 昨年度に続き2回目の寄附

### 明治安田生命保険相互会社から市に寄附金が贈呈

明治安田生命保険相互会社が全国で展開する「私の地元応援募金」の取り組みの一環として、市に21万8千円の寄附金が贈呈されました。同社からの寄附は、今年2月に引き続き2回目となります。

今回いただいた寄附金については、ふれあいの里石岡ひまわりの館にて、感染症対策のための利用を予定しています。谷島市長は「新型コロナウイルスの影響により失われつつある健康づくりのために、ありがたく使わせていただきます」と話しました。



▲（写真左から）つくば支社長 伊吹浩光様、石岡営業所 鈴木洋子様、石岡営業所長 加藤哲也様、つくば支社市場開発部長 丸家 琢様



▲講師を務めていただいた岡本<sup>ただし</sup>さんは、幼い時に被爆し、現在も原因不明の体調不良に苦しむことがありますが、経験を後世に伝えていくことが自分の使命に感じていると話してくれました。

## 平和への思いを後世に伝える 被爆体験伝承者講話を開催 市内全中学校にオンライン配信

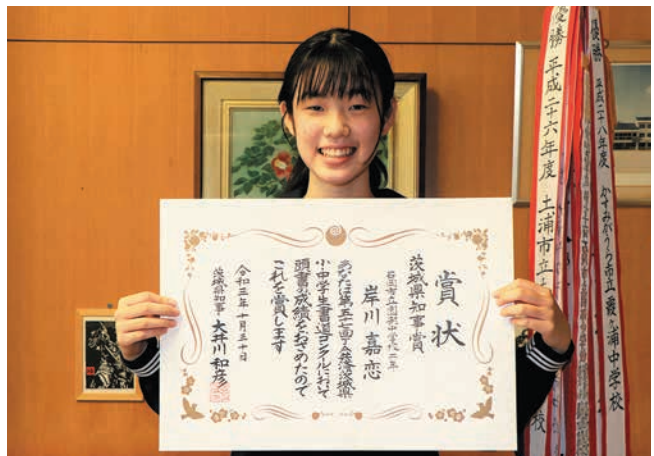
11月1日、広島市から被爆体験伝承者を迎え、被爆体験についてのお話をいただきました。国府中学校を会場にして行った講話は、オンラインで市内全中学校に配信され、各中学校の2年生全員が視聴しました。

講話を聞いた生徒からは「今も苦しんでいる人がいると聞いて悲しい気持ちになった」「あたりまえの日常はとても幸せなこと。感謝しなければいけないと思った」「自分でも平和につながる行動をしたい」といった感想が聞かれました。

## 県内の最上位作品に選ばれる快挙 園部中学校の岸川<sup>かれん</sup>嘉恋さんが 書道コンクールで特別賞

「第57回 JA 共済茨城県小・中学生書道コンクール」で、園部中学校2年生の岸川嘉恋さんが、特別賞の茨城県知事賞を受賞しました。

コンクールは条幅と半紙の2部門に分かれ、県内の各学校から出品された作品数は6,395点。特別賞は、各学年・部門ごとに1点ずつ選ばれる金賞の中から決められます。岸川さんは「(受賞を聞いた時は)驚きの方が大きかったです。努力してきたことが実って嬉しかったです」と話しました。



▲小学1年生から習字を習っている岸川さん。将来は習字の先生になりたいと話します。



▲4日には点灯式が開催。様子はYoutubeでライブ配信され、訪れた人たちも見守る中、19基のツリーがライトアップされました。

## 子どもたちの笑顔をともし コロナ終息に願いを込めて ペットボトルツリーが展示

11月4日から14日までの期間、石岡商工会議所青年部による「ペットボトルイルミネーション」が常陸國總社宮の土俵前参道で実施され、ペットボトルで作られたツリーが初冬の夜を彩りました。

本来は8月の石岡サマーフェスタで展示予定でしたが、コロナ禍により期間を変えて実施。総数3,210個のペットボトルは、市内16校の小学校で作られたもので、1つ1つに新型コロナ終息への願いが込められたデザインや言葉が描かれています。